

受け継いだ舞お祭りの今

毎年、秋の風とともに聞こえてくる獅子太鼓の音。時代が移り変わろうと、秋祭りの景色は子どもの時に見たもののまま。

地域色豊かな賑わいが各地で見られる秋祭りが

今年は違った光景を見せました。

それぞれの地域が話し合いの末に下した決断の裏側をお伝えします。



疫病退散の祈りを込めて 72年ぶり 白木の神輿



「開催が中止か、さまざまな意見がありました。その中でどういう形であれば開催できるのか。6月から何度も勉強会や検討会を重ねました」と話すのは、浮嶋神社秋祭奉賛会会長の小山裕司さん。



が、それを打開するために専業農家の有志が中心となって「浮嶋神社秋祭奉賛会」が組織されました。奉賛会は、その年の45歳に当たる同級生が浮嶋神社例大祭の神輿渡御、お練り、獅子舞の全てを総括することになっています。



「度重なる話し合いで、90歳近くの大先輩しか存在を知らなかった『白木の神輿』が神輿蔵の2階で眠っていることを知りました。かつて昭和23年の大凶作の時に厄払いとして奉られたそうです。その神輿をメインに据えて開催すると決めました」。8月から神輿の



1_早朝に舞う獅子舞/2_奉賛会会長小山裕司さん/3_獅子舞(堀池霊社) /4_獅子舞(五月田御旅所)/5_舞姫/6_振り奴/7_手桶・帚持・先駆神職・猿田彦・猿女君/8_大魔/9_練り戻し/10_72年ぶりの白木の神輿



来年に思いを託し、今できることを

伝統の舞が地域をつなぐ



「ここ（北方東公民館）に集まる人はみんな家族みたいなもん」と口々に話す北方獅子舞保存会の皆さん。例年通りであれば、祭りの40日前から毎晩練習に励んでいます。毎晩19時半から中学生の練習が始まり、大人が練習を終える頃は、23時頃。「祭りの時期になつたら、子どもから「お父さんが消える」って言われとんよ」と笑い合います。

北方の獅子舞は、揚神社の秋祭りの行事の一つとして江戸時代から地区の若者たちの手によって伝えられ、昭和52年に市指定無形民俗文化財に登録。獅子舞は二羽獅子、乱獅子があり、メリハリのある太鼓、勇壮な獅子遣いが魅力です。獅子舞を指導する渡部秀明さんと佐伯善伸さんは、「獅子を始めるときは北方は東と西に別れていて、獅子の振り方などそこそここのやり方があった。厳しいお師匠さんは、何年も梵天（獅子の振りの練習道具）しか振らせてくれないくらい厳しかったが、今は双方の良さを受け継いで良い形になつてきていると思う」と振り返ります。



「中止になつたのは初めてのこと。何度もみんなで話し合い、大人だけでも...といった意見も出しましたが、中止を決断しました」と悔しさを滲ませるのは、保存会会長の徳野さん。「ただ中止にするのではなく、週に一度集まって、今までできなかった書類の見直しや、獅子や太鼓の修繕をしています。今できることを段階を踏んでやっていこうと決めて取り組んでいます」。北方獅子舞保存会の皆さんは、来年はできることを信じて、2年分の思いをぶつけるため、すでに未来を見据えています。

今、地域でできることを 初の中止は断腸の思い



まもる
北方獅子舞保存会 会長 徳野 守さん

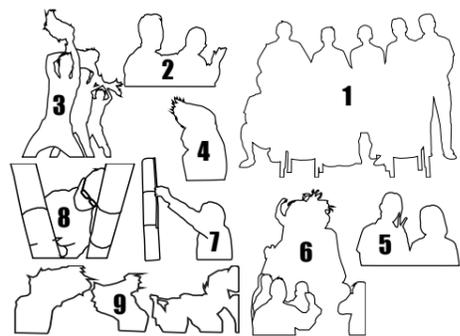
お祭りがないと何かを忘れていたような感覚。近所の方も「毎年練習から太鼓の音が聞こえよるけん、今年は寂しいねえ」と。みんなの健康と体を第一に考えた末、初の中止を決めました。次の世代の子どもたちには、この場を与えてもらえること、獅子が振れることに感謝の気持ちを持ってほしいと思います。次の世代に一人でも多く獅子舞に興味を持ってほしい。練習場所でお待ちしておりますので、いつでも覗きにきてくださいね。

2年分の思いを来年に ずっと見てきた父の背中



あゆむ
北方獅子舞保存会 徳野 歩さん

獅子舞の練習に初めて参加した中学生時代。最初は練習に行くのが嫌だったのですが、「練習に行くなら携帯電話を買ってあげる」と言われて参加しました（笑）。「やると決めたらからは真剣に」という父の言葉もあり、練習をしていくうちに徐々に獅子舞の魅力に惹かれ、27歳になる今でも続けています。この時期になると獅子舞への気持ちが高まってきます。今年は残念でしたが練習を重ねて、来年にこの気持ちをぶつけたいと思います。



1_北方東公民館に集まった北方獅子舞保存会の皆さん/2_練習を温かく見守る/3_中止が決定してからも“ぼんてん”を振り、動きを確認する/4_練習中の獅子/5_太鼓の田井能恭子さん(写真右)と向井亮子さん(写真左)。2人に撞れて太鼓に興味を持つ中学生も/6_宵宮で神輿の上で壮大に舞う(一昨年の写真)/7_節が等間隔で平行になっている竹を選ぶ/8_太鼓のぼちになる竹を取るため、雨が降る中竹藪で作業/9_公民館には大勢の中学生が練習に訪れる(去年の写真)

